

#### 6.1.4 動物

##### 1) 周辺林内の乾燥化による貴重な動物種の生息状況

###### (1) 調査期間

本調査の実施期間を表 6.1.4-1 に示した。

表 6.1.4-1 調査期間一覧

地区	春季	夏季	秋季	冬季
G地区	平成30年5月22日 ～24日、6月20～22 日	平成30年9月12日 ～15日、19～21日	平成30年10月23日 ～25日、29日～31日	平成31年1月15日 ～17日、2月13日～ 15日
H地区	平成30年5月23日 ～24日、6月12～14 日	平成30年9月19日 ～20日、25日～27 日	平成30年10月29日 ～31日、11月19日 ～21日	平成31年1月9日～ 11日、2月13日～15 日
N-1地区	平成30年5月24日 ～25日、6月12～14 日	平成30年9月19日 ～21日、25日～27 日	平成30年10月23日 ～25日、11月26日 ～28日	平成31年1月9日～ 11日、2月13日～15 日
N-4地区	平成30年6月5日 ～8日	平成30年7月18日 ～20日、23日～25 日	—	—

注) —は調査終了を示す。

## (2) 調査方法

調査対象である各分類群とその調査手法を表 6.1.4-2 に示した。

表 6.1.4-2 調査対象及び調査手法の一覧

調査対象	調査手法	調査手法の詳細
哺乳類	目撃法・鳴き声による任意観察法 フィールドサイン法 バットディテクター <sup>注)</sup>	調査地区内を踏査し、個体数、痕跡、巣穴、鳴き声などにより、生息状況の把握に努めた。 夜間踏査時には、飛翔する小型コウモリ類を確認するためにバットディテクターを用いた。 調査中に樹洞を確認した場合は、樹洞内部で休息する哺乳類や樹洞性コウモリ類の確認に努めた。
鳥類	ラインセンサス法 ナイトセンサス法 コールバック	ラインセンサス法は、鳥類の活動が活発になる早朝に、設定したルートを徒歩で移動しながら、片側 25m(両側 50m)以内に出現する鳥類の種類と個体数を記録した。識別には 8~10 倍率の双眼鏡を用いた。 ナイトセンサス法は、フクロウ等の夜行性の鳥類について、日没後に設定したルート上を徒歩で移動しながら、懐中電灯等を併用し、目撃または鳴き声により確認し、種数と個体数を記録した。また、種によってはコールバック調査を行った。
爬虫類 両生類	目撃法 捕獲法(タモ網等) 鳴き声による任意観察法(両生類)	日中及び夜間に調査区域内を踏査し、目撃、鳴き声などにより把握に努めた。踏査中は、活動中の個体のみでなく、倒木や岩下の個体の確認、休息中の個体の確認にも努めた。また、踏査中に樹洞を確認した場合は、内部を懐中電灯で照らすなどして、内部の確認にも努めた。
昆虫類	目撃法 任意採集法(見つけ取り法)	調査地区内を踏査し、飛翔個体等の目撃確認(目撃法)、石下や倒木中に潜む個体の確認(見つけ取り法)により把握を行った。
クモ類	任意採集法 (見つけ取り法)	調査地区内を任意で踏査し、樹上や地表面等に潜む個体の探索(見つけ取り法)により把握を行った。
陸産貝類	任意採集法(見つけ取り法)	調査地区内を任意で踏査し、樹上、葉上、地上等に生息する陸産貝類を目視により確認した。

注) コウモリ類が発生する超音波を可聴音に変換して確認する機器。

### (3) 調査地点

調査は図 6.1.4-1 に示す 4 地区で実施した。

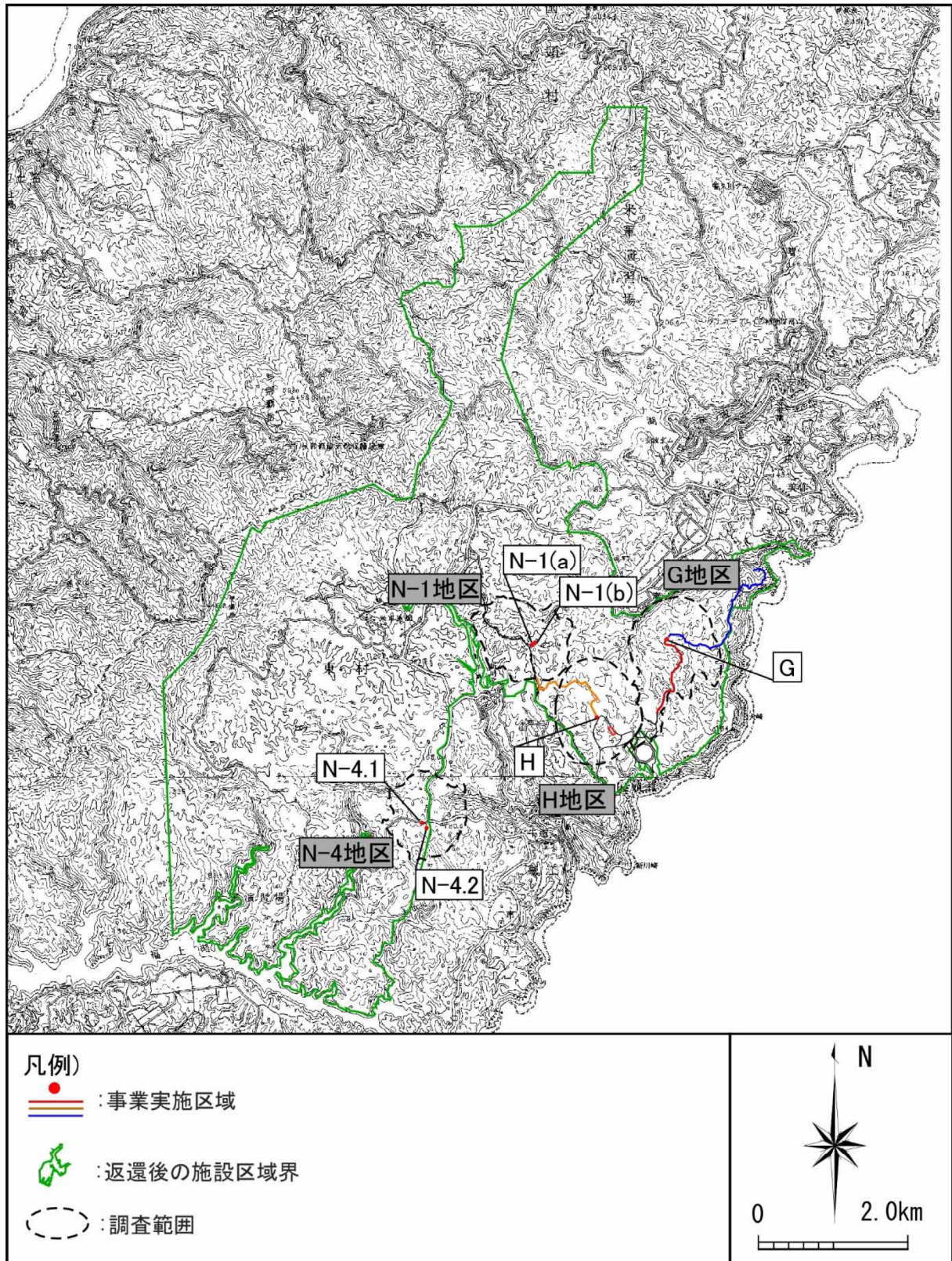


図 6.1.4-1 周辺林内乾燥化による貴重な動物種の生息状況調査範囲

#### (4) 調査結果

##### a) G 地区

確認した貴重な動物種の確認一覧を表 6.1.4-3 に、確認位置を図 6.1.4-2 に示した。

G 地区で確認した貴重な動物種は、哺乳類が [ ] や [ ] など 6 種、鳥類は [ ] や [ ] など 11 種、爬虫類は [ ] や [ ] など 6 種、両生類は [ ] や [ ] など 8 種、昆虫類は [ ] や [ ] など 6 種、甲殻類は [ ] の 1 種、クモ類は [ ] と [ ] の 2 種、陸産貝類は [ ] や [ ] など 17 種が確認され、全分類群では 22 目 41 科 57 種となった。

季節別に見ると、春季調査での確認が 43 種と最多であった。

表 6.1.4-3 貴重な動物種の確認状況(G地区)

No.	分類群	目名	科名	種または亜種名	学名	確認状況(G地区)				指定状況						
						春季	夏季	秋季	冬季	天然記念物	種の保存法	環境省	沖縄県			
1	哺乳類					1								NT		
2						1		1						NT		
3						2	2	2					EN	EN		
4									1				EN	EN		
5						4		2						VU		
						振り返し33	振り返し33 足跡1 ヌタ場1	振り返し35 足跡1 ヌタ場2	振り返し41 ヌタ場2							
6									1 食痕3	国天	国内	EN		CR		
7		鳥類							9	4	7	国天		NT	VU	
8							14	3	11	15	探餌痕1	国天	国内	CR	CR	
9										2					VU	
10							1	1	2	4					VU	
11							7	1	2	2					NT	
12							1	1							NT	
13							7	2	2	8					NT	
14							24	13	5	3		特天	国内	CR	CR	
							営巣2									
							巣跡15			巣跡1						
						探餌痕22	探餌痕15	探餌痕14	探餌痕9							
15						12	8	4	10						NT	
						幼鳥2										
16						31	13	30	11		国天	国内	EN	EN		
						幼鳥1		幼鳥2								
						営巣1	巣跡4	巣跡2	巣跡1							
						5	1							DD	EN	
17	爬虫類					22	14	8	3	国天			VU	EN		
							幼体3									
19						2		1	2	県天	国内	VU	VU			
20						1	5	8	7					NT		
							幼体1									
21						7	9	7						VU	VU	
22						5	3	2						VU	VU	
23														NT	NT	
24		両生類					1	1	2	15	県天	国内	VU	VU		
							幼生22	幼生31	幼体1	幼生3						
25							544	100	176	434					NT	NT
							幼体3	幼体11	幼体18	幼体9						
							幼生81	幼生21	幼生3	幼生86						
26							2									NT
27							5	4	4	109					NT	VU
								幼体1	幼体1	幼生189						
										卵塊19						
28						幼体1			17	県天	国内	EN	EN			
									幼体1					VU	EN	
29						16	37	73	100							
						幼体14	幼体5	幼体6	幼体7	卵塊76						
30						19	16	3	1		県天	国内	EN	EN		
						幼生3	幼体2	幼体7	幼体8							
						幼生63	幼生23	幼生24	幼生42							
						卵塊2	卵塊4									
31					6	4	3	6		県天	国内	EN	EN			
					幼体5	幼体2	幼体3	幼体1								
					幼生4	幼生16										
					卵塊2											
32	昆虫類													NT		
33						11	14	14	11					NT	NT	
34						19	6	3	2					NT	NT	
35														NT	NT	
36									1					NT	NT	
37									食痕1					NT	NT	
38		甲殻類				3	3	1						NT	NT	
39		クモ類				1	5	4		国天						
40							巣穴86	巣穴54	巣穴67	巣穴110				VU	VU	
41		陸産貝類													NT	
42							1			2					NT	
43							6	3	3	7					※	※
44							2	2		18					VU	NT
45							14	6	12	8					VU	NT
46							47	15	29	53						VU
47															CR+EN	CR+EN
48							26	12	18	14					NT	NT
49														NT	NT	
50						4	8	7	7					NT	NT	
51						9	2	8	9					※	※	
52						4	2	8	10					NT	NT	
53														VU	VU	
54						16	10	10	3					VU	VU	
55						74	114	163	52					VU	VU	
56						3		5	4					VU	CR+EN	
57															NT	
						1								※		
-	-	22目	41科	57種	43種	42種	39種	42種	12種	9種	42種	46種				

注1) 小型コウモリ類は、飛翔個体の目撃など種の同定に至らなかったが当該地域に生息する全種が貴重種であることから貴重種として扱った。  
 注2) [ ] については、野外で同定困難な複数種を含む可能性があることから、カテゴリ指定状況を示せなかった。  
 注3) 貴重種指定状況のカテゴリーを以下に示す。

- \* 環境省：「環境省レッドリスト2019」(2019)環境省
- \* 沖縄県：「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(レッドデータおきなわ)第3版-動物編-」(2017年 沖縄県)
  - I A (CR) → 絶滅危惧 I A類 (絶滅の危機に瀕している種-ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの)
  - I B (EN) → 絶滅危惧 I B類 (絶滅の危機に瀕している種- I A類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの)
  - II (VU) → 絶滅危惧 II類 (絶滅の危険が増大している種-現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧 I 類」のランクに移行することが確実と考えられるもの)
  - 準 (NT) → 準絶滅危惧 (存続基盤が脆弱な種-現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの)
  - 地域 (LP) → 地域個体群 (地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群)
- \* 種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年法律75号)
  - 国内 → 国内希少野生動植物種 (本邦に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種)
- \* 天然記念物：「文化財保護法」(昭和25年法律214号)
- 特天 → 特別天然記念物 国天 → 国指定天然記念物 県天 → 県指定天然記念物



図 6.1.4-2 (1) 貴重な動物種の確認位置(G地区：哺乳類・甲殻類・クモ類)



図 6.1.4-2 (2) 貴重な動物種の確認位置(G地区：鳥類)



図 6.1.4-2 (3) 貴重な動物種の確認位置(G 地区：爬虫類)



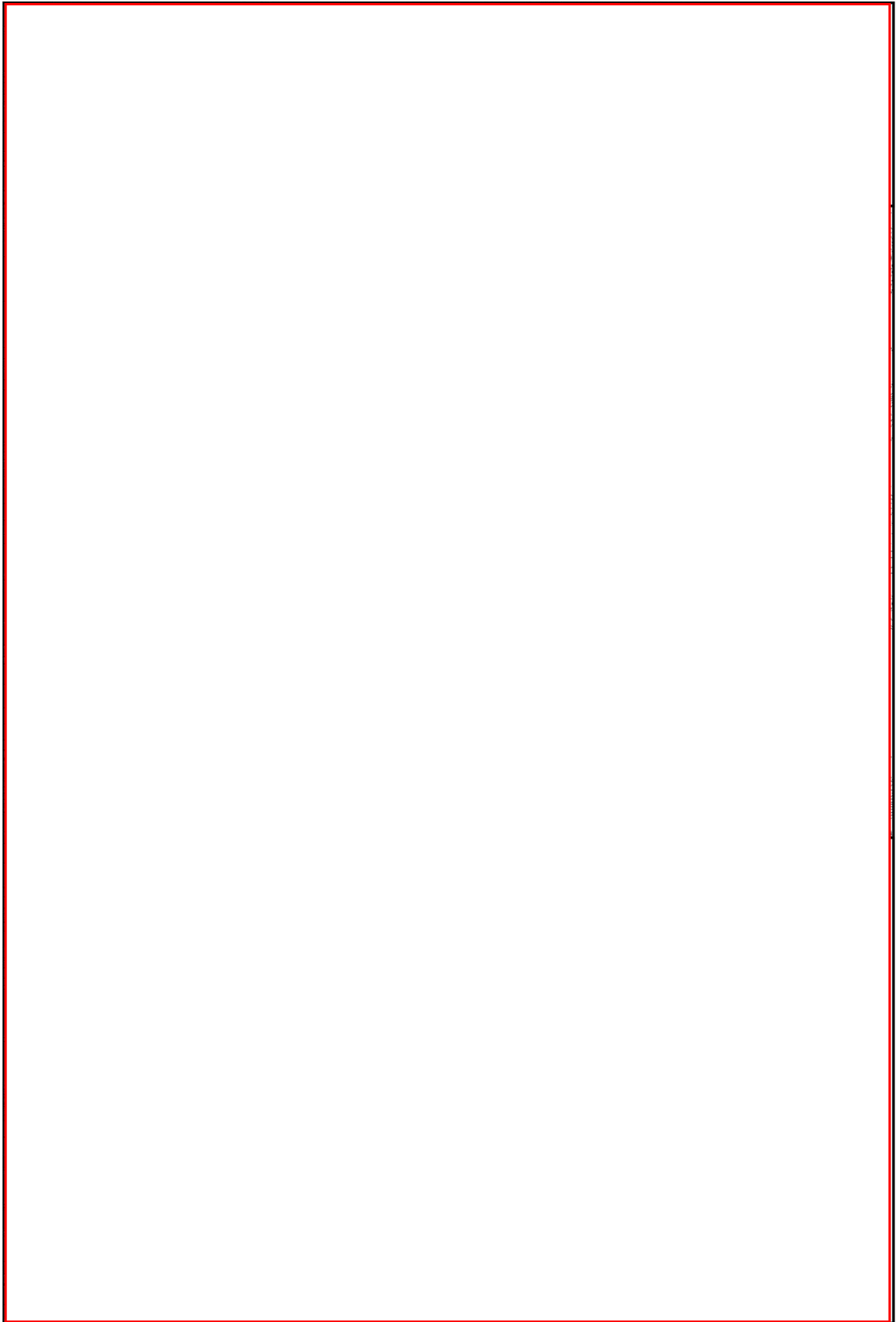


図 6.1.4-2 (4) 貴重な動物種の確認位置(G 地区 : 両生類)

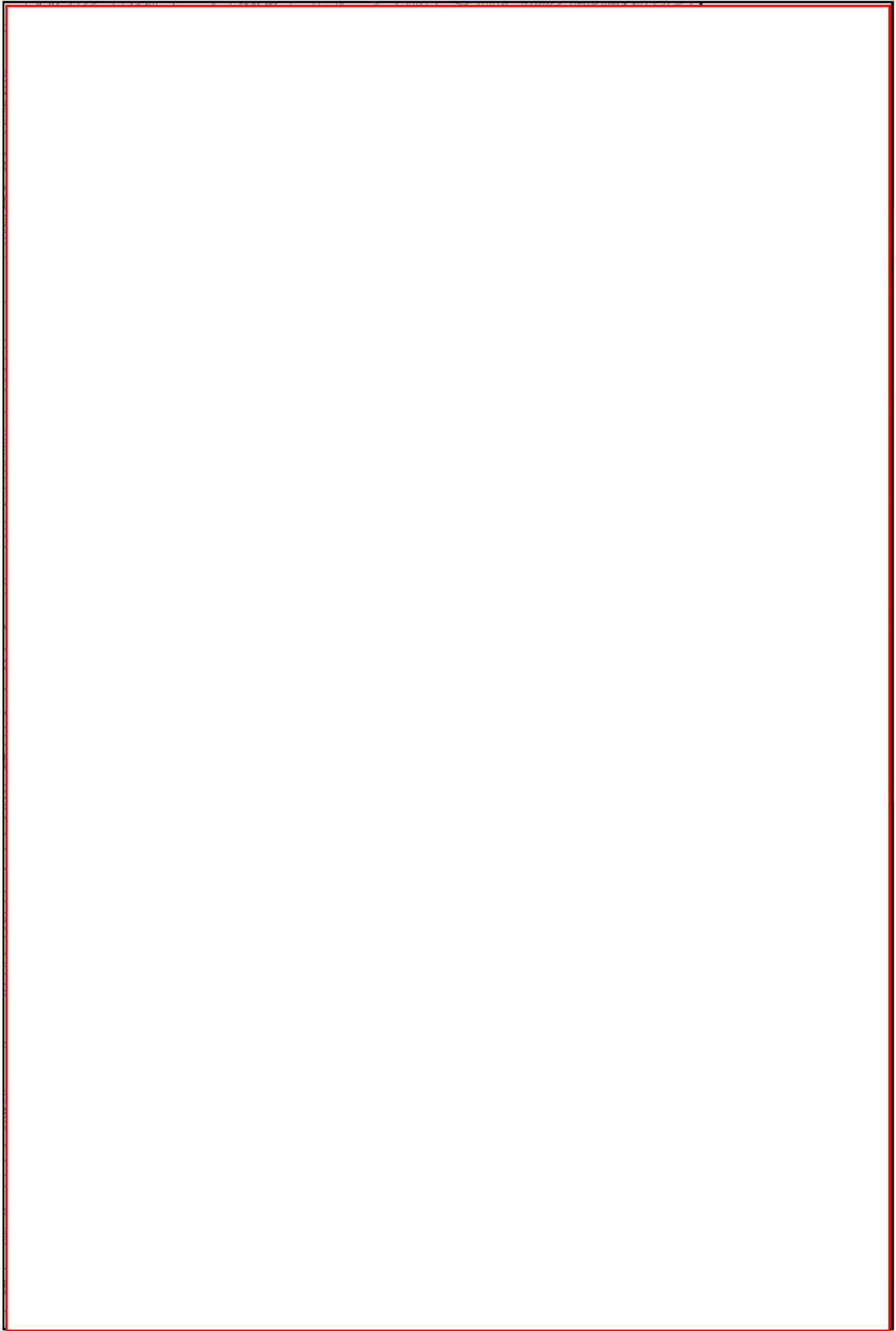


図 6.1.4-2 (5) 貴重な動物種の確認位置(G 地区：昆虫類)



図 6.1.4-2 (6) 貴重な動物種の確認位置(G 地区：陸産貝類)